

科目	IT経営実践セミナー	担当	加藤 省三	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

海外投資や国際戦略がどのような過程を経て作られるか、新たなeビジネスの誕生などについて、実例をベースに講義する。また、企業を取り巻く国際環境の変化と、それに対する経営戦略としてどんなことが考えられるかを、主に近年における日系企業の海外進出、新興国の台頭から論じる。受講者は第一線で働いている日本を代表する企業や金融機関の経営者や管理者、国際とIT業務の専門家の講義により、企業の国際化活動や海外での業務展開内容を通して、国際・電子ビジネスや異文化経営の実践的な内容を学ぶことができ、自分の視野を広げることと共に、実践的にビジネス展開するために必要な応用力の修得も期待される。

【履修注意】

本講義はIT経営コースの必修科目であり、隔週で奇数回週の実施である。

履修者は事前に講師と講義テーマの背景などを調べておくこと。一部の講義の終了時に、レポートシステムによるレポート・課題の提出があるので、パソコンを持参すること(但し、講義中に授業に専念してもらいため、パソコンの無断使用は不可)。講師からの質問や議論に対して、積極的に参加すること。毎回出席は原則であり、欠席の回数は2回を超えると、D評価(不合格)になる。

【評価方法】

①各回のレポートの得点、②出席状況、③授業態度などにより総合的に評価する。第一回講義のオリエンテーション時に評価方法の詳細に関する説明があるので、留意すること。

【試験について】

レポート試験。

再試験対象者の条件：基本的に再試験は行わない。

【予習・復習】

各回のテーマは事前に公開しているので、できるだけ関連情報・話題を事前に集めておくこと。

【教科書】

購入教科書なし。各回の講義内容に関連する資料やレジュメなどを配布する予定。

【参考書】

書籍名：『ケースブック国際経営』 著者：吉原英樹 他 出版社：有斐閣

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	国際ビジネスの基本、各回講義の注目点、日程と受講要領
2	銀行による企業の国際ビジネス支援	海外進出状況、アジア主要国の投資環境、国際ビジネス支援
3	モバイルビジネス	移動通信市場、モバイルビジネス、今後の動向
4	国際貿易の実務	貿易の役割、インコタームズ、L/C、基本規制、リスク管理
5	ネットワークによる国際経済連携	オフショアリング、遠隔授業、日本語人材育成
6	巨大企業の海外展開	INAXとLIXILの生立、海外での事業活動、真のグローバル企業
7	ITSとまちづくり	高度道路交通システム、災害情報システム、まちづくり
8	グローバル時代の職業人生設計	CROP、複眼的視野、国際的説得力注：講師の都合などにより、講義順番の入替や内容の変更がある。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		